



平成 28 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社ゼネラル・オイスター  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 吉田 秀則  
(コード番号：3224 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 常務取締役 CFO 経営戦略本部長 安部 浩司  
(TEL. 03-6667-6606)

### 特別損失の計上及び業績予想の修正等に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 28 年 5 月 16 日に公表した平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上 184 百万円

##### ① 店舗閉鎖損失 148 百万円

不採算店舗（2 店舗）の閉鎖に伴う費用として、148 百万円を特別損失に計上するものであります。

##### ② 事業所閉鎖損失 36 百万円

広島浄化センターを閉鎖し、富山の浄化センターへ統合するための費用として、36 百万円を特別損失に計上するものであります。本件については、業務の集約化、効率化を図ることが目的であり、期初予想には織り込んでいなかったものの、当初計画に沿ったものです。富山の浄化センターが順調に立ち上がったことから早期実現に至りました。

#### 2. 平成 29 年 3 月期の通期業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	4,500	40	20	500	327 円 72 銭
今回修正予想 (B)	4,200	40	20	330	213 円 05 銭
増減額 (B-A)	△300	—	—	△169	—
増減率 (%)	△6.7	—	—	△34.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	3,893	△342	△349	△486	△325 円 39 銭

### 3. 修正の理由

売上高は、既存店が想定を下回ったこと及び店舗閉鎖に伴い当初予想を下回る見通しとなりました。

一方、営業利益及び経常利益は、不採算店舗の閉鎖及び浄化センターの統合による費用削減が見込まれること、並びに連結子会社(株)ジーオー・ファームにおける補助金収入（販売費及び一般管理費から控除）が見込まれること等を踏まえ、当初予想を据え置いております。

親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失に店舗閉鎖損失等を計上したことにより、当初予想を下回る見通しです。

### 4. 中期経営計画の見直しについて

当社は、業績予想の修正要因となった店舗事業について、今後の出店計画の見直しを含めた抜本的改革に着手する一方、さまざまな方面から引き合いが増えてきた海外展開（富山県入善で海洋深層水により浄化した牡蠣のアジア向け輸出事業等）については、当初計画よりも前倒しでスタートする可能性が高まったことから、中期経営計画の見直しを検討しています。具体的な数値目標等について現在策定中ではありますが、決定しだい公表させていただきます。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後予想数値と異なる場合があります。

以上